

2024年度

情報ネットワーク科
講義計画集

— 第2学年 —

氏名

船橋情報ビジネス専門学校

〒273-0005 船橋市本町7-12-16

電話:047-425-1051

2024年度 (令和6年度) 年間計画表

2024/3/27 現在

前期												後期																																										
4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月																					
1月	始業式	1水	水4回 研修合宿	1土		1月	月12回	1木			1日		1火	火4回	1金	金8回	1日	ジョブパス	1水	元旦	1土		1土		1土		2月		2水	水4回	2土		2月	月10回	2木		2日		2日		3月		3水	水3回	3日	文化の日	3火	火12回	3金		3月	月15回	3月	26卒学内合説
2火		2木	木4回	2日		2火	火12回	2金			2月		2水	水4回	2土		2月	月10回	2木		2日		2日		3月		3水	水3回	3日	文化の日	3火	火12回	3金		3月	月15回	3月	26卒学内合説																
3水	新入生 オリエンテーション	3金	憲法記念日	3月	月8回	3水	水13回	3土			3火		3水	水3回	3日	文化の日	3火	火12回	3金		3月	月15回	3月	26卒学内合説																														
4木		4土	みどりの日	4火	火8回	4木	体育祭	4日			4水		4金	金4回	4月	振替休日	4水	水12回	4土		4火	火16回	4火																															
5金	入学式	5日	こどもの日	5水	水9回	5金	金12回	5月			5木		5土		5火	火8回	5木	木12回	5日		5水	水16回	5水																															
6土		6月	振替休日	6木	木9回	6土		6火			6金		6日		6水	水8回	6金	金13回	6月		6木	木17回	6木	卒業生登校日																														
7日		7火	月曜振替4回	7金	金8回 駅前C	7日		7水			7土		7月	月4回	7木	木8回	7土		7火		7金	金13回	7金	卒業式																														
8月	前期スタート 月1回	8水	水5回	8土		8月	月13回	8木			8日		8火	火5回	8金	金9回 ひろえば船橋	8日		8水	水13回	8土		8土		8土																													
9火	火1回	9木	木5回	9日		9火	火13回	9金			9月	後期スタート 月1回	9水	水5回	9土		9月	月11回	9木	木13回	9日		9日		9日																													
10水	水1回	10金	金4回	10月	月9回	10水	水14回	10土			10火	火1回	10木	木4回	10日		10火	26卒就職G	10金	金14回	10月		10月		10月																													
11木	木1回	11土		11火	火9回	11木	木14回	11日	山の日		11水	水1回	11金	金5回	11月	月7回	11水	26卒就職G	11土		11火	建国記念の日	11火																															
12金	金1回	12日		12水	水10回	12金	金13回	12月	振替休日		12木	木1回	12土		12火	火9回	12木	26卒就職個人面談	12日		12水		12水																															
13土		13月	月5回	13木	木10回	13土		13火	受付業務 停止		13金	金1回	13日	国家試験	13水	水9回	13金	26卒就職個人面談	13月	成人の日	13木	卒業研究発表会	13木																															
14日		14火	火5回	14金	金9回	14日		14水			14土		14月	スポーツの日	14木	木9回	14土		14火	火13回	14金	卒業研究発表会	14金	終業式																														
15月	月2回	15水	水6回	15土	県民の日	15月	海の日	15木			15日		15火	火6回	15金	金10回	15日		15水	月曜振替12回	15土		15土																															
16火	火2回	16木	木6回	16日		16火	火14回	16金			16月	敬老の日	16水	水6回	16土	25卒就職G(保護者)	16月	26卒就職個人面談	16木	木14回	16日		16日																															
17水	水2回	17金	金5回 25卒就職G	17月	月10回	17水	水15回	17土			17火	火2回	17木	木5回	17日		17火	26卒就職個人面談	17金	金15回	17月	26卒就職G	17月																															
18木	木2回	18土		18火	火10回	18木	木15回	18日			18水	水2回	18金	金6回	18月	月8回	18水	26卒就職個人面談	18土		18火	26卒Web面接練習	18火																															
19金	金2回	19日		19水	水11回	19金	金14回	19月			19木	月曜振替2回	19土		19火	火10回	19木	26卒就職個人面談	19日		19水		19水																															
20土		20月	月6回	20木	木11回	20土		20火	成績発表		20金	金2回	20日		20水	水10回	20金		20月	月13回	20木	卒業生成績発表	20木	春分の日																														
21日	国家試験	21火	火6回	21金	金10回 25卒就職G	21日		21水			21土		21月	月5回	21木	木10回	21土		21火	火14回	21金	在校生成績発表	21金																															
22月	月3回	22水	水7回	22土		22月	月14回	22木			22日	秋分の日	22火	火7回	22金	金11回	22日		22水	水14回	22土		22土																															
23火	火3回	23木	木7回	23日		23火	火15回	23金			23月	振替休日	23水	水7回	23土	勤労感謝の日	23月		23木	木15回	23日	天皇誕生日	23日																															
24水	水3回	24金	金6回	24月	月11回	24水	水16回	24土			24火	火3回	24木	木6回	24日		24火		24金	金16回	24月	振替休日	24月																															
25木	木3回	25土		25火	火11回	25木	木16回	25日			25水	水3回	25金	金7回	25月	月9回	25水		25土	漢字検定	25火		25火																															
26金	金3回	26日		26水	水12回	26金	金15回	26月			26木	木2回	26土	若幸祭前日準備	26火	火11回	26月		26日		26水		26水	プレスクール																														
27土		27月	月7回	27木	木12回	27土		27火	再試発表		27金	金3回 25卒就職G	27日	若幸祭	27水	水11回	27金		27月	月14回	27木	球技大会	27木																															
28日		28火	火7回	28金	金11回	28日		28水	25卒就職G		28土		28月	若幸祭振替休日	28木	木11回	28土	受付業務 停止	28火	火15回	28金	再試発表	28金																															
29月	昭和の日	29水	水8回	29土		29月	月15回	29木	25卒就職G		29日		29火	若幸祭振替休日	29金	金12回	29日		29水	水15回			29土																															
30火	火4回 研修合宿	30木	木8回	30日		30火	追試	30金			30月	月3回	30水	月曜振替6回	30土		30月		30木	木16回			30日																															
		31金	金7回			31水		31土					31木	木7回			31火		31金	金17回			31月																															

※GW中に実施される研修合宿に関しては一般的な登校日と同じ扱いになります。遅刻欠席をしないようによりしくお願いいたします。
 ※夏休みに特別講座を実施する可能性があります。詳細が決まりましたら後日、学生ご本人にご連絡いたします。

※春休みに特別講座を実施する可能性があります。詳細が決まりましたら後日、学生ご本人にご連絡いたします。

2学年

本校の教育方針	1
評価について／出欠席ルール	3
FJBネットID登録とメールアドレス	4
実習室・インターネット使用上のルール・マナー	4
個人情報保護に関する基本方針	5
教育目標と検定スケジュール	6
卒業研究Ⅰ・Ⅱ	柏木 貴大	7
Linuxサーバー構築Ⅰ・Ⅱ	柏木 貴大	9
ネットワーク構築Ⅰ・Ⅱ	高橋 洋平	11
バックエンド開発演習	高橋 洋平	13
フロントエンド開発演習	高橋 洋平	14
検定対策応用Ⅰ・Ⅱ	柏木 貴大	15
新技術動向	高橋 洋平	17
応用セキュリティ・ネットワークⅠ・Ⅱ	加藤 尚喜	18
就職講座A応用	田邊 悦子・遠藤 幹雄	20
就職講座B応用	高橋 洋平	21
キャリアデザイン	橘 純平	22
プレゼンテーション演習	橘 純平	23
社会人基礎力応用Ⅰ・Ⅱ	柏木 貴大	24

本校の教育方針

船橋情報ビジネス専門学校
校長 鳥居 高之

教育理念「若者をハッピーに」

これが本校の教育理念です。しかし幸せの形は人によって違いますし、卒業式で「はいどうぞ」と手渡しできるものではありません。在学中だけハッピーならよい訳でもありません。その後こそ重要です。従って私たち教職員の使命とは、学生のみなさんが職業人・社会人として豊かな人生を送るために、その土台作りのお手伝いをするという事になります。あくまでも主役は学生本人です。また社会に出てハッピーになる最低条件としては、大人として自立していなければなりません。その自立に欠かせないのが自律です。自律とは自分と闘うということです。ただ欲望や本能のままに行動するなら動物と同じです。すなわち、「自律 → 自立 → ハッピー」という順番です。私達もみなさんのお手伝いに全力を尽くしますが、自立した大人になる独力を忘れないでください。

勉強は教わるものではない

初年度のみ先生方は手取り足取り親切に教えてくれます。高校までに自分なりの勉強方法が身に付いていない人もいますからです。しかし2年目からは最後まで教えません。「まずは自分で考えてみなさい」と指導します。なぜでしょうか。将来みなさんが就職する会社に、そんな面倒見のよい上司や先輩がいるのでしょうか。みな仕事を抱えています。社会に出れば自分で勉強するのが当たり前です。質問・相談もできますが、自分で調べて考えるのが大原則です。その姿勢を在学中に身に付けてください。2年生になって先生の態度が変わるのはそのためです。急に厳しくなったと勘違いする学生がいますが、みなさんの真の成長を望んでいるのだということに気付いて欲しいです。

またスピード制限もしていません。もし授業の内容を既に理解していると感じる人は申し出てください。指導教員がそう判断すれば別メニューを設定します。クラス全体に歩調を合わせる必要はありません。どんどん前に進んでください！

人間教育の重視

人と接するのが苦手だからコンピュータの仕事に就きたいという学生がいます。大きな勘違いです。コンピュータの向こうには生身の人間がいます。どんなビジネスでも主役は人です。技術や資格ではなく人が仕事をするのです。そして人は一人では生きて行けない生き物です。仕事にせよ日常生活にせよ、常に他者との係わりの中で生きています。本校は単なる就職予備校ではないのです。人間教育を技術教育以上に重視しています。特に次の2つを心がけて欲しいです。

元気に明るく挨拶（あいさつ）

明るい人はみんなに好かれます。明るさの第一歩は、自分から元気に挨拶することです。そのような新入社員は職場でも愛されます。学校の先生方や来校されるお客様に練習台になっていただき、どんどん自分から挨拶しましょう。

3つの守り

本校がとても大切にしている3つの守りとは、「時間を守る、約束を守る、ルールを守る」です。単純ですが、当たり前のことを当たり前にやるのは実は大変なことです。自律できない人は自分と闘えません。つまり自立もできません。

「ルールを守る」に関しては考えて欲しいことがあります。学校生活だけでなく今後の生き方にも係わることです。ルールや法律を守るのは、叱られない罰せられないためでしょうか。世の中を見渡すと、法に触れなければいい、見つからなければいい、と考える者もいます。真の大人になり損ねた、自己中心のニセ大人です。みなさんには、「そんなことをしたら人として、大人として恥ずかしい」と自分を律して行動できる、良識ある職業人・社会人になって欲しいと願っています。以下校内のルールやマナーについて、少し補足しておきます。

通学

- (1) バイク・自動車通学全面禁止。
- (2) 自転車は学生課に登録し所定の駐輪場所を利用。

エレベーター

- (1) 学生はドアの注意書きに従うこと。下りは全面禁止。
- (2) 授業開始前および終了後の5分間は使用禁止。(教員優先)
- (3) 3号館は全面使用禁止。

禁煙

教職員、学生、成年、未成年者にかかわらず校内及び天沼公園・学校周辺は全面禁煙。

※船橋駅前から本校までの路上喫煙は条例により禁止され罰金の対象です

交通ルール

3号館前的大通りは横断絶対禁止。過去に死亡事故あり。横断歩道を使うこと。

重大なルール違反やマナー違反をした場合は、校長面接の上、停学や退学処分になることもありますので、学生の本分を守り勉学や学校生活に励んでください。なお本校では、学生が直接メールを校長宛に出すことができます。何か要望や相談があれば、いつでもメールしてください。 takatorii@mitsuhashi.ac.jp

以上

評価について

- (1) 評価とは成績証明書にS～Dで表現され記載される、その科目の最終的な成績のことを指す。
- (2) 評価は、合計点を用いて算出する。合計点とは、定期試験の素点に授業態度や出席状況、課題提出等の平常点を合計して算出したものである。

評価は以下の基準を用いる。(点または%)

S	90以上
A	80～89
B	50～79
C	40～49
D	39以下

- (3) 評価Dの者は、単位未修得者として処理される。
- (4) 評価Dの者には所定の手続きの後、再試験を実施する。ただし、再試験は特別の場合を除き、レポートに代替する。再試験に合格した場合その科目の評価はCとする。(特別な努力が認められたものは、B評価になることもある。)

GPA(Grade Point Average)

GPAとは、学生の成績の平均値を表したもので学期ごとにGPAを算出する。算出方法は以下の通り科目の評価(S～Dの5段階)に応じて、4.0～0.0の得点(GP)を設定し、科目ごとの得点(GP)に科目の単位数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を履修科目の総単位数で割り、少数点第二位を四捨五入したものをGPAとする。

なお、GPAを算出するタイミングは各学期の成績発表時点とする。その時点で評価がDの科目のGPは、後日再試験に合格していても0.0となる。

$GPA = \frac{【GP \times 履修科目の単位数】の合計}{履修科目の総単位数}$

出欠席ルール

- (1) 遅刻3回で欠課1回、欠課6回(1年生はSHR分の遅刻1回を含む)で1日の欠席とみなし、次の条件で換算する
 - ・SHRの遅刻及び欠席で「遅刻1」※SHRは1年生のみ
 - ・授業開始15分までの入室で「遅刻1」
 - ・授業開始15～45分までの入室で「欠課1」
 - ・授業開始45～60分までの入室で「欠課1+遅刻1」
※90分授業の前半45分の欠課1、後半15分までの遅刻1という考え方でカウントする
 - ・授業開始60分以降の入室で「欠課2」
- (2) 年間55日の欠席で進級停止、退学勧告。
- (3) 交通機関の乱れによる遅刻の場合は「遅延証明をもらう」。ただしバスは適用外。

レベル	欠席日数	学校側からのアクション	備考
1	無断欠席	担任が自宅へ電話する	
2	累積10日欠席	自宅へ警告書を郵送する	警告書の郵送は累積10日になった時点で行う。
3	累積25日欠席	校長面接を行う	警告書の郵送は累積25日になった時点で行う。
4	累積40日欠席	校長面接において「退学警告」を行う	保護者同伴で行う。
5	累積50日欠席	校長面接において「最終警告」を行う	同上
6	累積55日欠席	①自宅へ退学勧告通知書を郵送する ②掲示板に名前を張り出す	退学を勧告する。

※「退学勧告」とは・・・1ヶ月以内に退学届けを提出すれば「自主退学」扱いとなります。以後は「強制退学処分」とします。

卒業認定

以下の条件に基づき学校長と教職員による卒業判定会議を経て学校長に認められた者について卒業を認定する

- (1) 履修した全ての科目において単位修得していること
- (2) 原則として各年度において年間55日以上欠席がないこと

FJBネットID登録とメールアドレス

1. ユーザID登録について

本校では、学生1人ひとりにユーザIDを発行しております。このIDでログインすると、学校内のネットワーク環境が利用できます。課題の保存、教材の受け渡し、メールでのコミュニケーションなどに活用して下さい。

2. メールアドレスについて

(1) 科によってメールアドレスが設定されています。

詳細は担任から説明があります。

(2) 「FJBインターネット&イントラネット」画面の「先生へのメール」をクリックして電子メールを活用して下さい。

(3) Webメールでの各個人に与えられている容量は50MBまでです。整理せずに企業からの大切なメールを受理できないケースがありました。不必要なメールはこまめに消去してください。

3. 緊急連絡について

クラスの諸連絡、台風や大雪等の休校等の連絡はグループコミュニケーションツールを使用します。(スマートフォンでも使用可能)各自、常に最新の投稿を確認するようにしてください。投稿を確認していない場合、自己責任です。またツールを使用する環境がない場合は担任に申し出てください。

実習室・インターネット使用上のルール・マナー

1. 実習室の放課後開放について

放課後、午後6時まで実習室を開放します。開放時間中に清掃(清掃時間を入り口に掲示)が入ります。その際は一度退出をお願いします。気持ちよく使えるよう、ご協力ください。

2. 実習室に、飲食物は持ち込んではいけません

パソコンは精密な電子機械です。水、粘着質の糖分、細かなゴミ、小さな金属物などを嫌います。実習室では、飲食行為も持ち込みも、厳禁です。

3. 本校のパソコンに、ゲーム(その他ソフト)をインストールしてはいけません

雑誌の付録のCD-ROMを持ち込んだり、インターネットでダウンロードしたりして、ゲームなどのソフトを本校のパソコンにインストールしてはいけません。

4. USBなどの記憶媒体は必ずウイルスチェックをするようにして下さい

記憶媒体を本校で使用する場合は、監督の先生に申し出てウイルスチェックをしてもらって下さい。その後、許可します。

5. 実習ファイルを保存するための領域をIドライブに用意してあります

必要なファイルのみ保存し、常に整理を心がけてください。ゲームファイル、過度な容量のファイルの保存を禁止します。(卒業研究等、必要な場合を除く)

6. インターネットを利用して、画像、音楽などを不正使用してはいけません

画像・音楽データなどはすべて、著作権があります。さらに、人物の写真には肖像権、アイドルの写真にはパブリシティ権があります。個人的な利用の範囲を超えて、使用してはいけません。HPやブログに貼り付けることはこれらの権利の侵害で、犯罪行為です。

7. インターネットに、非常識な書き込みをしてはいけません

インターネットの世界は、限られた若者のギャグやシャレの場ではありません。善意ある人達の、世界的に開かれた場です。匿名性を利用した破廉恥な書き込みは、卑怯者の行為です。一見匿名ですが、アクセス記録は残りますから、必ず追跡されます。

以上の約束が守れない場合は、指導の対象となります。

また、悪質な場合は、停学・退学を含めた処置を検討します。

学校法人三橋学園 船橋情報ビジネス専門学校
個人情報保護に関する基本方針（プライバシーポリシー）

船橋情報ビジネス専門学校

船橋情報ビジネス専門学校は、教育機関としての社会的責任を果たすために、以下の個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を定め、教職員およびその他の関係者に周知徹底し、これを実行します。

1. 個人情報の取り扱いについては、教育上または業務上必要な範囲内において利用目的をできるだけ特定した上で、権限を与えられた者のみに許可します。
2. 個人情報に対する不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等を防止するために、適切な安全対策を講じます。
3. 取得した個人情報は、以下の目的に利用します。
 - (1) 本校の授業、検定試験、行事等の通知・連絡・管理を行うため
 - (2) 就職指導および就職活動支援を行うため
 - (3) 入学相談および募集活動を行うため
 - (4) 入学選考試験業務を行うため
 - (5) 各種証明書等の発行業務を行うため
 - (6) 上記のほか、教育上必要と判断される業務や活動を行うため
4. 本校は以下のような場合において、必要とされる範囲内で個人情報を関係者または第三者に提供もしくは公開することがあります。
 - (1) 在学生の保護者に対し、本人の学業成績、出欠席状況、資格取得状況等の提供
 - (2) 在学生もしくは卒業生の出身校に対し、本人の出欠席状況、資格取得状況、就職状況等の提供
 - (3) 学内での定期試験合格者、資格取得者、就職内定者情報等の公開
 - (4) 就職指導室における、在学生もしくは卒業生の就職先、就職活動記録等の公開
 - (5) 本校への入学希望者に対する、在学生もしくは卒業生の就職または就職内定先情報および、学校案内や本校ホームページに記載されている情報等の提供
 - (6) 上記のほか、本校の教育上もしくは業務上必要と判断される場合
5. 上記以外の利用目的で個人情報を収集する場合は、別途本人および保護者に通知します。
6. 以上のように、本校による関係者および第三者への個人情報の提供は、教育上もしくは業務上必要であると判断した上で行っておりますが、希望しない場合は所定の手続による請求をすることで停止できます。

個人情報の開示、訂正、利用停止の請求および取り扱いに対する問い合わせは下記までお願いします。

校長 鳥居 高之
047-425-1051
takatorii@mitsuhashi.ac.jp

教育目標と検定スケジュール

情報ネットワーク科

教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク構築、サーバ構築及び運用管理を行える人材の育成 情報処理基礎技術の修得 社会人として必要な能力の養成 (コミュニケーション能力,プレゼンテーション能力) 	<p>基本方針</p> <p>①自ら調べ、考えながら問題を解決する能力や姿勢を身につける</p> <p>②コミュニケーション能力を育成する</p> <p>③1年次は資格取得、2年次は実技面を育成する</p> <p>1年次</p> <p>①インフラエンジニアとしての資格合格を目指す CCNA,ITパスポート試験,情報セキュリティマネジメント試験</p> <p>②社会人基礎資格の取得 漢検3級,ジョブパス3級,J検3級,MOS/Excel</p> <p>③コンピュータ基礎力を育成する</p> <p>④プログラミングの基礎学習を行う</p> <p>⑤ビジネス能力の向上、就職対策を行う</p> <p>2年次</p> <p>①インフラエンジニアとしての技術習得を目指す Linuxサーバ構築,ネットワーク構築,データベース,PHP</p> <p>②プロジェクト管理力・プレゼンテーション力を身につける</p> <p>③プログラミングの応用演習を行う</p> <p>④Officeを利用した応用演習を行う</p>
目標資格	<ul style="list-style-type: none"> シスコ技術者認定試験 CCNA Linux技術者認定試験 LPIC 情報セキュリティマネジメント試験 基本情報技術者試験 ITパスポート試験 	
進級条件	<ul style="list-style-type: none"> 漢字検定3級 ジョブパス3級 	
卒業条件	<ul style="list-style-type: none"> 卒業制作 	

9

	1年次												2年次												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1 シスコ技術者認定試験 CCNA	→						☆▷																	
2 ITパスポート試験	→						☆▷																	
3 情報セキュリティマネジメント試験	→						☆▷																	
4 漢字検定 3級・準2級・2級	→	☆▷				☆▷		☆		▷		☆▷		☆▷		☆				
5 ジョブパス3級	→		☆				☆				▷		☆▷			☆							
6 情報検定 情報活用 3級・2級	→						☆▷																	
7 MOS Excel	→										☆														
8 Linux技術者認定試験 LPIC													→						☆						
9 基本情報技術者試験												▷												

科目	卒業研究 I	分類	専門、必修科目
担当	柏木 貴大		
テキスト (出版社)	-		
参考資料	-		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	6
	0%	30%	40%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要

システム開発の流れやチーム開発を経験する。

2. 授業の目標(検定取得など)

1年次に学んできたネットワークの知識や、仮想マシン・Webアプリの知識を活かしたシステムを構築する。
最新技術や触れたことのないIDE、プログラミング言語を活用する。

3. 注意点・要望

チームでの学習となる為、コミュニケーションを取る。

4. 関連科目

-

週	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業説明、スケジュールの確認、卒業研究のテーマ発表と説明
2	個人課題(1)	Webアプリ、スマホアプリ調査(1)
3	個人課題(2)	Webアプリ、スマホアプリ調査(2)
4	個人課題(3)	調査結果の発表
5	チーム編成 テーマに準じた制作物の構想(1)	制作物の構想を練る(1)
6	テーマに準じた制作物の構想(2)	制作物の構想を練る(2)
7	テーマに準じた制作物の構想(3)	制作物の構想を練る(3)
8	卒業制作(1)	チーム別卒業制作(1)
9	卒業制作(2)	チーム別卒業制作(2)
10	卒業制作(3)	チーム別卒業制作(3)
11	卒業制作(4)	チーム別卒業制作(4)
12	卒業制作(5)	チーム別卒業制作(5)
13	発表準備(1)	資料整理と成果物の最終調整 発表準備(1)
14	発表準備(2)	資料整理と成果物の最終調整 発表準備(2)
15	前期成果発表	成果発表
16	前期試験期間	-

備考

システム開発経験のある教員がシステム開発に必要な視点、技術、姿勢を指導する

科目	卒業研究Ⅱ	分類	専門、必修科目
担当	柏木 貴大		
テキスト (出版社)	-		
参考資料	-		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	8
	0%	30%	40%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要

システム開発の流れやチーム開発を経験する。

2. 授業の目標(検定取得など)

1年次に学んできたネットワークの知識や、仮想マシン・Webアプリの知識を活かしたシステムを構築する。
最新技術や触れたことのないIDE、プログラミング言語を活用する。

3. 注意点・要望

チームでの学習となる為、コミュニケーションを取る。

4. 関連科目

-

週	テーマ	内容
1	卒業制作(6)	スケジュールの確認と調整 チーム別卒業制作(6)
2	卒業制作(7)	チーム別卒業制作(7)
3	卒業制作(8)	チーム別卒業制作(8)
4	卒業制作(9)	チーム別卒業制作(9)
5	後期成果発表(1)	成果発表(1)
6	卒業制作(10)	チーム別卒業制作(10)
7	卒業制作(11)	チーム別卒業制作(11)
8	卒業制作(12)	チーム別卒業制作(12)
9	卒業制作(13)	チーム別卒業制作(13)
10	後期成果発表(2)	成果発表(2)
11	卒業制作(13)	チーム別卒業制作(13)
12	卒業制作(14)	チーム別卒業制作(14)
13	卒業制作(15)	チーム別卒業制作(15)
14	卒業制作(16)	チーム別卒業制作(16)
15	後期成果発表(3)	成果発表(3) 制作物の提出
16	後期試験期間	-

備考

システム開発経験のある教員がシステム開発に必要な視点、技術、姿勢を指導する

科目	Linuxサーバ構築 I	分類	専門、必修科目
担当	柏木 貴大		
テキスト (出版社)	Linuxコマンドブック ビギナーズ 第5版(SBクリエイティブ株式会社)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	20%	0%	50%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要

LinuxやOSについて学び、Linuxの操作コマンドを修得する。

2. 授業の目標(検定取得など)

Linuxについて自分の言葉で説明でき、コマンドによる基本操作が行えることを目標とする。

3. 注意点・要望

お互いに教え合いながら進めることを推奨する。

4. 関連科目

-

週	テーマ	内容
1	導入 ログイン・ログアウト	授業の進め方や諸注意 サーバへのログイン・ログアウト
2	シェル	シェルの概要、コマンドによる操作の確認
3	コマンド操作(1)	ディレクトリ構造について ファイル・ディレクトリの一覧表示、コマンドによるテキストファイルの開き方
4	コマンド操作(2)	ログインユーザの表示、現在日時の確認、リダイレクション ディレクトリの作成・削除、ファイルのコピー・移動・削除
5	コマンド操作(3)	ファイル情報の確認 ファイルやディレクトリの保護モード
6	コマンド操作(4)	標準入出力とデバイスファイル
7	SSH認証鍵	SSH認証鍵の作成
8	エディタ(1)	viエディタの基本操作
9	エディタ(2)	viエディタを使ったテキストファイル編集
10	正規表現	正規表現を使った検索方法
11	コマンド操作(応用1)	ファイル検索
12	コマンド操作(応用2)	ファイル内容で検索、コマンドを連続して使う
13	コマンド操作(応用3)	フォアグラウンド処理とバックグラウンド処理、コマンドの強制終了
14	コマンド操作(応用4)	リファレンスマニュアルを参考に、コマンドの使い方を確認
15	前期試験期間	効果測定

備考

システム開発経験のある教員がLinuxの基本操作などを指導する

情報ネットワーク科	2年
-----------	----

【後期】

科目	Linuxサーバ構築Ⅱ	分類	専門、必修科目
担当	柏木 貴大		
テキスト (出版社)	Linuxコマンドブック ビギナーズ 第5版(SBクリエイティブ株式会社)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	20%	0%	50%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要
LinuxやOSについて学び、Linuxの操作コマンドを修得する。
2. 授業の目標(検定取得など)
Linuxについて自分の言葉で説明でき、コマンドによる基本操作が行えることを目標とする。
3. 注意点・要望
お互いに教え合いながら進めることを推奨する。
4. 関連科目
-

週	テーマ	内容
1	導入 仮想環境	後期授業の説明、グループ決め 仮想環境作成
2	OSインストール	仮想環境にOSをインストールする
3	OSの初期設定	OSのアップデート 初期設定(ネットワーク、ユーザ管理、ファイアウォール、パッケージ管理)
4	基本的なサービス	SSH、FTP、telnetなどのインストール・設定・起動
5	Webサーバ(1)	Webサーバの概要とインストール・設定・起動
6	Webサーバ(2)	ユーザ認証、TLS/SSLの設定
7	Webサーバ(3)	バーチャルホスト
8	DNS(1)	DNSの概要とインストール・設定・起動
9	DNS(2)	キャッシュサーバ、ゾーン設定
10	ファイル共有サーバ(1)	ファイル共有サーバの概要とインストール・設定・起動
11	ファイル共有サーバ(2)	ファイル共有サーバのセキュリティ
12	データベースサーバ	データベースサーバの概要とインストール・設定・起動
13	メールサーバ(1)	メールサーバの概要とインストール・設定・起動
14	メールサーバ(2)	セキュリティを考慮したメールサーバの設定
15	サーバ構築・運用	総復習
16	後期試験期間	効果測定

備考	システム開発経験のある教員がLinuxの基本操作などを指導する
----	---------------------------------

科目	ネットワーク構築 I	分類	専門、必修科目
担当	高橋 洋平		
テキスト (出版社)	-		
参考資料	-		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	30%	0%	30%	0%	0%	40%	100%		

1. 授業の概要

シミュレータソフトを利用し、ネットワークの構築を行う。技術的レベルを向上させる。

2. 授業の目標(検定取得など)

ネットワークの設計、構築、トラブルシューティング等から実践的な技術を習得する。

3. 注意点・要望

忘れてしまっている点や分からない部分については、まず自分でしっかりと調べ問題解決能力を養ってください。
自分の課題が早く終わった者は、周囲に教えることでより自己の能力向上につながります。

4. 関連科目

-

週	テーマ	内容
1	ガイダンス 実機の確認とケーブル作成	授業の進め方 ネットワーク機器の確認
2	ネットワーク構築シミュレータ(1)	パケットレの使い方・基礎設定とスタティックルート(1)
3	ネットワーク構築シミュレータ(2)	パケットレの使い方・基礎設定とスタティックルート(2)
4	ネットワーク構築シミュレータ(3)	RIPv2を用いたダイナミックルーティング(1)
5	ネットワーク構築シミュレータ(4)	RIPv2を用いたダイナミックルーティング(2)
6	ネットワーク構築シミュレータ(5)	VLSMを用いたアドレス節約(1)
7	ネットワーク構築シミュレータ(6)	VLSMを用いたアドレス節約(2)
8	ネットワーク構築シミュレータ(7)	認証方式(1)
9	ネットワーク構築シミュレータ(8)	認証方式(2)
10	ネットワーク構築シミュレータ(9)	デフォルトルート(1)
11	ネットワーク構築シミュレータ(10)	デフォルトルート(2)
12	ネットワーク構築シミュレータ(11)	PortSecurity(1)
13	ネットワーク構築シミュレータ(12)	PortSecurity(2)
14	総まとめ	これまでの課題内容の確認
15	前期試験期間	効果測定

備考

-

科目	ネットワーク構築Ⅱ	分類	専門、必修科目
担当	高橋 洋平		
テキスト (出版社)	-		
参考資料	-		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	30%	0%	30%	0%	0%	40%	100%		

1. 授業の概要

シミュレータソフトを利用し、ネットワークの構築を行う。技術的レベルを向上させる。

2. 授業の目標(検定取得など)

ネットワークの設計、構築、トラブルシューティング等から実践的な技術を習得する。

3. 注意点・要望

忘れてしまっている点や分からない部分については、まず自分でしっかりと調べ問題解決能力を養うこと。
自分の課題が早く終わった者は、周囲に教えることでより自己の能力向上につながる。

4. 関連科目

-

週	テーマ	内容
1	復習	パケット操作の再確認と前期の復習問題
2	ネットワーク構築シミュレータ(13)	DHCPを用いたアドレス自動配布(1)
3	ネットワーク構築シミュレータ(14)	DHCPを用いたアドレス自動配布(2)
4	ネットワーク構築シミュレータ(15)	ACLの活用方法とフィルタリング(1)
5	ネットワーク構築シミュレータ(16)	ACLの活用方法とフィルタリング(2)
6	ネットワーク構築シミュレータ(17)	OSPFを使用したダイナミックルーティング(1)
7	ネットワーク構築シミュレータ(18)	OSPFを使用したダイナミックルーティング(2)
8	ネットワーク構築シミュレータ(19)	EIGRPを使用したダイナミックルーティング(1)
9	ネットワーク構築シミュレータ(20)	EIGRPを使用したダイナミックルーティング(2)
10	ネットワーク構築シミュレータ(21)	VLAN間ルーティング(1)
11	ネットワーク構築シミュレータ(22)	VLAN間ルーティング(2)
12	ネットワーク構築シミュレータ(23)	ルート再配送(1)
13	ネットワーク構築シミュレータ(24)	ルート再配送(2)
14	最終課題(1)	最終課題の実施(1)
15	最終課題(2)	最終課題の実施(2)

備考

-

科目	バックエンド開発演習	分類	専門、必修科目
担当	高橋 洋平		
テキスト (出版社)	初心者からちゃんとしたプロになる PHP基礎入門<PHP8対応>(エムディエヌコーポレーション)		
参考資料	-		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	40%	0%	30%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要

動的なWebアプリケーション開発に必須となるPHPの基礎知識を学習する。
XAMPPやphpMyAdmin等の実務ツールを使用し、データベースとの連携を行いながらアプリケーションの作成を行う。

2. 授業の目標(検定取得など)

PHPの基礎的なコードが書けるようになり、かつ読み取れるようになる。動的なWebアプリケーションを作成できるようになる。

3. 注意点・要望

プログラムエラーは頻繁に発生するものと思ってください。エラー解決も成長につながります。

4. 関連科目

卒業研究 I・II、フロントエンド開発演習

週	テーマ	内容
1	PHPの基本(1)	環境説明、PHPのプログラミングルール、基本文法、四則演算、論理演算
2	PHPの基本(2)	条件分岐
3	フォーム操作(1)	POSTメソッドによるデータの受け渡し(1)
4	フォーム操作(2)	POSTメソッドによるデータの受け渡し(2)
5	配列(1)	1次元配列
6	配列(2)	2次元配列、配列のループ処理
7	複数言語の共存	HTMLとPHPの混ぜ書き方法と注意点
8	ファイルの読み込み	include、requireを使用した別ファイルの読み込み、コード再利用
9	関数(1)	関数の機能と利用方法、クロスサイトスクリプティング対策
10	セッション(1)	セッションの仕組みとクッキー
11	セッション(2)	IDとパスワードを使用したログイン機能の実装
12	データベース連携(1)	データベース概要、環境構築、PDOの理解
13	データベース連携(2)	データの表示、追加
14	データベース連携(3)	データの更新、GETメソッドでのデータ受け渡し
15	データベース連携(4)	データの削除
16	前期試験期間	効果測定

備考

-

科目	フロントエンド開発演習	分類	専門、必修科目
担当	高橋 洋平		
テキスト (出版社)	いちばんやさしいJavaScriptの教本(インプレス)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	30%	0%	30%	0%	0%	40%	100%		

1. 授業の概要

動的にWebページの内容を書き換えるJavaScript技術を学習する。

2. 授業の目標(検定取得など)

JavaScriptの基礎を扱うことができるようになる。
動的なWebページの構築が一人でできるようになる。

3. 注意点・要望

毎時間、新しい技術を学習するため、欠席をしないこと。

4. 関連科目

卒業研究 I・II、バックエンド開発演習

週	テーマ	内容
1	オリエンテーション JavaScriptの特徴	授業の目標、進め方及び評価方法の確認 プログラムとは、JavaScriptの特徴とは、制作環境を整える
2	JavaScript基礎構文(1)	プログラムの記述場所、基本構文とエラー、関数、メソッド、データ
3	JavaScript基礎構文(2)	文字列、数値と計算、ダイアログボックスの種類
4	JavaScript基礎構文(3)	変数、JavaScriptファイルの作成、コードの書き方
5	関数の基礎	関数の概要、関数の定義、デフォルト引数、関数とスコープ
6	HTML/CSSの操作方法(1)	オブジェクトの概要、windowオブジェクト、DOM操作:内容の書き換え DOM操作:要素へのアクセス
7	HTML/CSSの操作方法(2)	DOM操作:CSSの変更、要素の追加、要素の削除
8	ユーザー操作対応	イベントの概要、イベント:click、keyup、タイマー処理
9	フォトギャラリーの作成	HTML操作の実践、CSSの実践、イベント処理の実践
10	jQuery基礎(1)	jQueryの概要、jQueryの準備、jQueryの基本構文
11	jQuery基礎(2)	セレクタとjQueryオブジェクト、jQueryのイベント
12	jQuery基礎(3)	jQueryの実践
13	課題作成(1)	授業で学習した技術を使い、課題に取り組む(1)
14	課題作成(2)	授業で学習した技術を使い、課題に取り組む(2)
15	課題作成(3)	授業で学習した技術を使い、課題に取り組む(3)
16	課題作成(4)	授業で学習した技術を使い、課題に取り組む(4)
17	後期定期試験	効果測定

備考

-

科目	検定対策応用 I	分類	専門、必修科目
担当	柏木 貴大		
テキスト (出版社)	-		
参考資料	-		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	50%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

社会に出た際に必要となる技術・資格を各自設定をし、取得に向け問題演習を実施する。

2. 授業の目標(検定取得など)

各自で設定した目標技術・資格を取得する。

3. 注意点・要望

設定した目標に対するスケジュール作成と、振り返りにおいて明確な意思を持って行う。

4. 関連科目

-

週	テーマ	内容
1	目標設定と実施内容の決定	各自で目標資格を決定し、スケジュールを作成する
2	目標資格対策(1)	スケジュールに沿った問題演習、解説(1)
3	目標資格対策(2)	スケジュールに沿った問題演習、解説(2)
4	目標資格対策(3)	スケジュールに沿った問題演習、解説(3)
5	目標資格対策(4)	スケジュールに沿った問題演習、解説(4)
6	目標資格対策(5)	スケジュールに沿った問題演習、解説(5)
7	目標資格対策(6)	スケジュールに沿った問題演習、解説(6)
8	目標資格対策(7)	スケジュールに沿った問題演習、解説(7)
9	目標資格対策(8)	スケジュールに沿った問題演習、解説(8)
10	目標資格対策(9)	スケジュールに沿った問題演習、解説(9)
11	目標資格対策(10)	スケジュールに沿った問題演習、解説(10)
12	目標資格対策(11)	スケジュールに沿った問題演習、解説(11)
13	目標資格対策(12)	スケジュールに沿った問題演習、解説(12)
14	目標資格対策(13)	スケジュールに沿った問題演習、解説(13)
15	レポート作成	目標に対するレポートの作成
16	前期試験期間	-

備考

-

科目	検定対策応用Ⅱ	分類	専門、必修科目
担当	柏木 貴大		
テキスト (出版社)	-		
参考資料	-		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	50%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

社会に出た際に必要となる技術・資格を各自設定をし、取得に向け問題演習を実施する。

2. 授業の目標(検定取得など)

各自で設定した目標技術・資格を取得する。

3. 注意点・要望

設定した目標に対するスケジュール作成と、振り返りにおいて明確な意思を持って行う。

4. 関連科目

-

週	テーマ	内容
1	目標設定と実施内容の決定	各自で目標資格を決定し、スケジュールを作成する
2	目標資格対策(14)	スケジュールに沿った問題演習、解説(14)
3	目標資格対策(15)	スケジュールに沿った問題演習、解説(15)
4	目標資格対策(16)	スケジュールに沿った問題演習、解説(16)
5	目標資格対策(17)	スケジュールに沿った問題演習、解説(17)
6	目標資格対策(18)	スケジュールに沿った問題演習、解説(18)
7	目標資格対策(19)	スケジュールに沿った問題演習、解説(19)
8	目標資格対策(20)	スケジュールに沿った問題演習、解説(20)
9	目標資格対策(21)	スケジュールに沿った問題演習、解説(21)
10	目標資格対策(22)	スケジュールに沿った問題演習、解説(22)
11	目標資格対策(23)	スケジュールに沿った問題演習、解説(23)
12	目標資格対策(24)	スケジュールに沿った問題演習、解説(24)
13	目標資格対策(25)	スケジュールに沿った問題演習、解説(25)
14	目標資格対策(26)	スケジュールに沿った問題演習、解説(26)
15	レポート作成	目標に対するレポートの作成
16	後期試験期間	-

備考

科目	新技術動向	分類	専門、必修科目
担当	高橋 洋平		
テキスト (出版社)	-		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	30%	30%	0%	0%	40%	100%		

1. 授業の概要

AWS、UML、PM、デジタルマーケティング、ChatGPTについての知識と技術を習得する。AWSについては実習環境にも触れる。また、IT新技術について調査を行うことで知識・技術のアップデートを図る。

2. 授業の目標(検定取得など)

IT分野に関する新技術を会得することで、企業で活躍できるIT人材になることを目標とする。卒業研究と親和性の高い分野について学習することで、研究成果物の質を高める。

3. 注意点・要望

初めて触れる分野や技術が大半です。うまくいかなくても諦めずに試行錯誤しましょう。

4. 関連科目

卒業研究Ⅱ

週	テーマ	内容
1	ガイダンス AWSの基本概念、接続方法	本講義に関するガイダンス(評価方法、学習方法、資格の説明) AWSの概要とクラウドについてと接続方法
2	AWSの各種サービス(1)	ユーザ管理、ネットワークサービス
3	AWSの各種サービス(2)	S3によるWEBサービス
4	AWSの各種サービス(3)	EC2によるWEBサービス
5	AWSの各種サービス(4)	DNS関連サービス、DB関連サービス
6	UML(1)	UMLの概要とメリット
7	UML(2)	ユースケース図、アクティビティ図
8	UML(3)	クラス図、配置図
9	プロジェクトマネジメント	PMの役割とミーティング技術
10	デジタルマーケティング(1)	マーケティング概要、デジタル化による影響
11	デジタルマーケティング(2)	WEBサイト運営、SEO技術
12	デジタルマーケティング(3)	広告、ユーザの行動心理、SNSの活用と危険性
13	ChatGPT	ChatGPTの利用法とメリット
14	新技術動向調査(1)	IT新技術動向について調査・発表の実施(1)
15	新技術動向調査(2)	IT新技術動向について調査・発表の実施(2)
16	後期試験期間	-

備考

-

科目	応用セキュリティ・ネットワーク I	分類	専門、任選科目
担当	加藤 尚喜		
テキスト (出版社)	-		
参考資料	プリント資料		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	20%	30%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

セキュリティ・ネットワーク分野を中心に、応用情報技術者試験に対応できる知識及び思考方法を学習する。

2. 授業の目標(検定取得など)

応用情報技術者試験の午後問題に取り組むことのできる知識・思考力を身につける。

3. 注意点・要望

午後問題は記述式解答となるので、不正解でもよいので自分の考えを書き出すことが重要です。

4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の目標、進め方及び評価方法の確認、理解度チェック
2	応用情報処理技術者試験対策(1)	情報セキュリティ(1) (マルウェア／サービスの妨害・悪用)
3	応用情報処理技術者試験対策(2)	情報セキュリティ(2) (パスワードの不正利用・入手／Webサイト利用者への攻撃など)
4	応用情報処理技術者試験対策(3)	情報セキュリティ(3) (暗号化技術／認証技術など)
5	応用情報処理技術者試験対策(4)	情報セキュリティ(4) (ネットワークセキュリティ／情報漏洩対策など)
6	応用情報処理技術者試験対策(5)	情報セキュリティ(5) (情報セキュリティマネジメント／リスクマネジメント)
7	応用情報処理技術者試験対策(6)	情報セキュリティ(6) (情報セキュリティインシデント管理／情報セキュリティ関連放棄など)
8	応用情報処理技術者試験対策(7)	ネットワーク(1) (ネットワーク方式、有線・無線LAN、回線に関する計算など)
9	応用情報処理技術者試験対策(8)	ネットワーク(2) (データ通信と制御、ネットワークアーキテクチャ、ネットワーク接続など)
10	応用情報処理技術者試験対策(9)	ネットワーク(3) (通信プロトコル、プロトコルとインタフェースなど)
11	応用情報処理技術者試験対策(10)	ネットワーク(4) (ネットワーク管理、構成管理、障害管理、仮想ネットワークなど)
12	応用情報処理技術者試験対策(11)	ネットワーク(5) (ネットワーク応用、Webシステム、通信サービス、モバイルシステムなど)
13	応用情報処理技術者試験対策(12)	テクノロジ系 (システムアーキテクチャ、組込システム開発など)
14	応用情報処理技術者試験対策(13)	ストラテジ系・マネジメント系(1) (経営戦略、プロジェクトマネジメント、システム開発など)
15	応用情報処理技術者試験対策(14)	マネジメント系(2) (サービスマネジメント、システム監査)
16	前期試験期間	-

備考

科目	応用セキュリティ・ネットワークⅡ	分類	専門、任選科目
担当	加藤 尚喜		
テキスト (出版社)	-		
参考資料	プリント資料		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	20%	0%	30%	50%	100%		

1. 授業の概要

セキュリティ・ネットワーク分野を中心に、応用情報技術者試験に対応できる知識及び思考方法を学習する。

2. 授業の目標(検定取得など)

応用情報技術者試験の午後問題に取り組むことのできる知識・思考力を身につける。

3. 注意点・要望

午後問題は記述式解答となるので、不正解でもよいので自分の考えを書き出すことが重要です。

4. 関連科目

-

週	テーマ	内容
1	応用情報処理技術者試験対策(1)	応用情報処理技術者試験 午後試験対策(1)
2	応用情報処理技術者試験対策(2)	応用情報処理技術者試験 午後試験対策(2)
3	応用情報処理技術者試験対策(3)	応用情報処理技術者試験 午後試験対策(3)
4	応用情報処理技術者試験対策(4)	応用情報処理技術者試験 午後試験対策(4)
5	応用情報処理技術者試験対策(5)	応用情報処理技術者試験 午後試験対策(5)
6	秋期試験の振り返り	秋期試験の反省・春期試験への反映事項、じ後の目標設定(高度情報技術者試験、他の資格取得など)
7	応用情報処理技術者試験対策(6)	応用情報処理技術者試験 過去問題演習(1) (他資格試験対策を含む)
8	応用情報処理技術者試験対策(7)	応用情報処理技術者試験 過去問題演習(2) (他資格試験対策を含む)
9	応用情報処理技術者試験対策(8)	応用情報処理技術者試験 過去問題演習(3) (他資格試験対策を含む)
10	応用情報処理技術者試験対策(9)	応用情報処理技術者試験 過去問題演習(4) (他資格試験対策を含む)
11	応用情報処理技術者試験対策(10)	応用情報処理技術者試験 過去問題演習(5) (他資格試験対策を含む)
12	応用情報処理技術者試験対策(11)	応用情報処理技術者試験 過去問題演習(6) (他資格試験対策を含む)
13	応用情報処理技術者試験対策(12)	応用情報処理技術者試験 過去問題演習(7) (他資格試験対策を含む)
14	応用情報処理技術者試験対策(13)	応用情報処理技術者試験 過去問題演習(8) (他資格試験対策を含む)
15	応用情報処理技術者試験対策(14)	応用情報処理技術者試験 過去問題演習(9) (他資格試験対策を含む)
16	後期試験期間	-

備考

科目	就職講座A応用	分類	教養、必修科目
担当	田邊 悦子・遠藤 幹雄		
テキスト (出版社)	求められる人材になるための社会人基礎力講座(日経BP社)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	30%	40%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要

社会人として必要な12の基礎力について、ケーススタディとグループディスカッションを通して理解と自己評価を行う
社会の仕組みや人間の思考の基本概念から、社会人としてのあり方を考える

2. 授業の目標(検定取得など)

企業を知り、夏休みまでに企業から内定をいただく(冒頭10分で企業紹介をします)
入社に向け社会人としての意識を高める

3. 注意点・要望

就職活動への取り組み状況(就職活動カードと受験報告書)も授業課題として評価対象とします
社会人として働くことに前向きな気持ちを持って取り組んでください

4. 関連科目

就職講座A

週	テーマ	内容
1	就職活動の準備と対策(1)	ガイダンス、社会人基礎力とは、志望動機の書き方
2	就職活動の準備と対策(2)	今後の就職活動、内定から入社まで、仕事のやりがい
3	社会人基礎力(1)	人生設計とキャリアデザイン、社会人になるということ、3つの能力と12の要素
4	社会システム(1)	ビジネス会計：企業の目的、財務諸表、損益計算書の基本と分析
5	社会人基礎力(2)	前に踏み出す力：主体性
6	社会システム(2)	ビジネス会計：貸借対照表の基本と分析、経営活動の流れ、ROA、ROE
7	社会人基礎力(3)	前に踏み出す力：働きかけ力、実行力
8	社会システム(3)	キャッシュフロー計算書の基本と分析、現金の流れと会社の倒産
9	社会人基礎力(4)	考え抜く力：課題発見力
10	社会システム(4)	時事問題
11	社会人基礎力(5)	考え抜く力：計画力、創造力
12	社会システム(5)	IT技術の進化
13	社会人基礎力(6)	チームで働く力：発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力
14	社会システム(6)	社会心理と組織行動、社会人とは
15	授業の振り返り	
16	前期試験期間	

備考

IT関連の業務経験と就職指導経験のある職員(職業紹介責任者)が、その経験に基づいて、就職活動全般及び個別の事例について、講義と指導を行う

科目	就職講座B応用	分類	教養、必修科目
担当	高橋 洋平		
テキスト (出版社)	-		
参考資料	-		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	40%	20%	0%	0%	40%	100%		

1. 授業の概要

就職活動に向けて企業研究や書類の作成、面接対策を実施し、自らの人生にマッチした企業への就職を目指す。
また、就職後に社会人として良いスタートが切れるよう、内定先業務に関連のある資格や技術の習得を行う。

2. 授業の目標(検定取得など)

志望する企業への就職内定を目指す。IT技術者として活躍するための資格、技術を取得する。

3. 注意点・要望

ここでの努力が、今後の人生を左右するかもしれません。真剣に取り組みましょう。

4. 関連科目

就職講座A応用

週	テーマ	内容
1	就職活動対策(1)	就職活動対策としての企業研究、履歴書作成、面接質問対策の実施(1)
2	就職活動対策(2)	就職活動対策としての企業研究、履歴書作成、面接質問対策の実施(2)
3	就職活動対策(3)	就職活動対策としての企業研究、履歴書作成、面接質問対策の実施(3)
4	就職活動対策(4)	就職活動対策としての企業研究、履歴書作成、面接質問対策の実施(4)
5	就職活動対策(5)	就職活動対策としての企業研究、履歴書作成、面接質問対策の実施(5)
6	就職活動対策(6)	就職活動対策としての企業研究、履歴書作成、面接質問対策の実施(6)
7	就職活動対策(7)	就職活動対策としての企業研究、履歴書作成、面接質問対策の実施(7)
8	就職後対策(1)	内定先企業に合わせた職業研究および検定、技術習得(1)
9	就職後対策(2)	内定先企業に合わせた職業研究および検定、技術習得(2)
10	就職後対策(3)	内定先企業に合わせた職業研究および検定、技術習得(3)
11	就職後対策(4)	内定先企業に合わせた職業研究および検定、技術習得(4)
12	就職後対策(5)	内定先企業に合わせた職業研究および検定、技術習得(5)
13	就職後対策(6)	内定先企業に合わせた職業研究および検定、技術習得(6)
14	就職後対策(7)	内定先企業に合わせた職業研究および検定、技術習得(7)
15	最終課題	これまでの就職活動への取り組みをレポートにまとめる

備考

-

科目	キャリアデザイン	分類	教養、必修科目
担当	橋 純平		
テキスト (出版社)	-		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	30%	20%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

経験学習を通じ内省により自己のキャリアデザインを確立させていく。

2. 授業の目標(検定取得など)

「何のために」「どのように生きていくのか」など、自分自身で未来を切り拓くためのワークを通じ学ぶ。

3. 注意点・要望

ゼロから講義をするため、予習は必要としない。ただし、知識の定着を図るため復習は推奨する。

4. 関連科目

社会人基礎力演習Ⅰ・Ⅱ

週	テーマ	内容
1	オリエンテーション キャリアとは(1)	授業の目標、進め方及び評価方法の確認 キャリアの意味、キャリアの語源
2	キャリアとは(2)	外的キャリア、内的キャリア
3	キャリアとは(3)	ライフラインチャート
4	自己理解(1)	ジョハリの窓と肯定的フィードバック
5	自己理解(2)	マインドマップ
6	自己理解(3)	キャリアアンカー
7	自己理解(4)	DISC
8	自己理解(5)	職業理解
9	人間関係とコミュニケーション(1)	アサーション
10	人間関係とコミュニケーション(2)	ABCD理論
11	人間関係とコミュニケーション(3)	メンターとは
12	人間関係とコミュニケーション(4)	レジリエンス
13	組織と仕事(1)	経営理念・ビジョン・戦略、経営組織
14	組織と仕事(2)	若手社員の定着と早期離職、会社からの評価
15	これからのキャリア(1)	授業の目標、進め方及び評価方法の確認 外部環境とキャリア、グローバル化
16	これからのキャリア(2)	ブラック企業、多様で柔軟な働き方
17	後期試験期間	-

備考

科目	プレゼンテーション演習	分類	教養、必修科目
担当	橋 純平		
テキスト (出版社)	-		
参考資料	-		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

プレゼンテーションをするための一連の流れを学習し、定着させる。

2. 授業の目標(検定取得など)

考えを言語化し、相手に理解してもらえる表現を身につける。

3. 注意点・要望

上手いかわないことが前提の授業なので、他者の否定をしないこと。

4. 関連科目

卒業研究Ⅰ・Ⅱ

週	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方 プレゼンテーションとは何か
2	プレゼンテーションの組み立て	プレゼンテーションの組み立て方法と相手への伝え方
3	内容設計	内容・構成 声の使い方
4	資料作成	資料の重要さと作り方
5	デザインのルール	適切なフォントの選択と視認性の向上
6	資料編集	資料編集の練習
7	発表方法	発表のコツと立ち回り
8	練習方法	適切な練習方法
9	PowerPointを活用する	プレゼンテーションにおける有効なPowerPointの使い方
10	企画力を身に着ける	企画力の向上
11	プレゼンテーション準備(1)	テーマの発表と準備方法
12	プレゼンテーション準備(2)	実践に向けた準備
13	プレゼンテーション準備(3)	発表・評価(1)
14	プレゼンテーション準備(4)	発表・評価(2)
15	プレゼンテーション準備(5)	発表・評価(3)
16	プレゼンテーション準備(6)	発表・評価(4)
17	後期試験期間	-

備考

-

科目	社会人基礎力応用 I	分類	教養、必修科目
担当	柏木 貴大		
テキスト (出版社)	-		
参考資料	-		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	50%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

様々な学校行事を題材に、社会人としてのヒューマンスキル向上を目指す。

2. 授業の目標(検定取得など)

リーダー・フォロワー、提案、許容、協調等の資質向上。

3. 注意点・要望

「モメていない」=真剣ではない証拠、「失敗していない」=チャレンジしていない証拠。
社会に出る前に真の協調性を学んでほしい。

4. 関連科目

-

週	テーマ	内容
1	オリエンテーション	社会人基礎力とは、各行事の行動指針を立てる
2	能力の実践(1)	企画を立てる
3	能力の実践(2)	予算案を作成する
4	能力の実践(3)	企画・予算・収支を発表する
5	基礎力評価(1)	ディスカッションもしくはプレゼンテーション形式で各セッションとの意見交換(1)
6	能力の実践(4)	各セッションに分かれて行動(1)
7	能力の実践(5)	各セッションに分かれて行動(2)
8	能力の実践(6)	各セッションに分かれて行動(3)
9	基礎力評価(2)	ディスカッションもしくはプレゼンテーション形式で各セッションとの意見交換(2)
10	能力の実践(7)	各セッションに分かれて行動(4)
11	能力の実践(8)	各セッションに分かれて行動(5)
12	能力の実践(9)	各セッションに分かれて行動(6)
13	能力の実践(10)	各セッションに分かれて行動(7)
14	能力の実践(11)	各セッションに分かれて行動(8)
15	基礎力評価(3)	ディスカッションもしくはプレゼンテーション形式で各セッションとの意見交換(3)
16	前期試験期間	-

備考

-

科目	社会人基礎力応用Ⅱ	分類	教養、必修科目
担当	柏木 貴大		
テキスト (出版社)	-		
参考資料	-		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	50%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

様々な学校行事を題材に、社会人としてのヒューマンスキル向上を目指す。

2. 授業の目標(検定取得など)

リーダー・フォロワー、提案、許容、協調等の資質向上。

3. 注意点・要望

「モメていない」=真剣ではない証拠、「失敗していない」=チャレンジしていない証拠。
社会に出る前に真の協調性を学んでほしい。

4. 関連科目

-

週	テーマ	内容
1	オリエンテーション	後期の行事、就職後の活動を意識した活動計画の立案
2	能力の実践(12)	各セクションに分かれて活動(9)
3	能力の実践(13)	各セクションに分かれて活動(10)
4	能力の実践(14)	各セクションに分かれて活動(11)
5	能力の実践(15)	各セクションに分かれて活動(12)
6	活動内容の評価(1)	活動内容の棚卸および評価(1)
7	能力の実践(16)	各セクションに分かれて活動(13)
8	能力の実践(17)	各セクションに分かれて活動(14)
9	能力の実践(18)	各セクションに分かれて活動(15)
10	能力の実践(19)	各セクションに分かれて活動(16)
11	活動内容の評価(2)	活動内容の棚卸および評価(2)
12	能力の実践(20)	2年間を振り返り各自発表準備(1)
13	能力の実践(21)	2年間を振り返り各自発表準備(2)
14	能力の実践(22)	2年間を振り返り各自発表準備(3)
15	能力の実践(23)	2年間を振り返り各自発表準備(4)
16	活動内容の評価(3)	活動内容の棚卸および評価(3)
17	後期試験期間	-

備考